

初期リスク評価の概要とその意義

2007年1月23日

製品評価技術基盤機構(NITE)

化学物質管理センター

小塚 康治

発表内容

1. プロジェクトへの参画と製品評価技術基盤機構 (NITE) の役割
2. 初期リスク評価の目的と特徴
3. 初期リスク評価書作成と人材育成
4. 初期リスク評価書の信頼性確保
5. この6年間で評価を行った物質
6. 初期リスク評価結果の概要とその意義
7. この6年間の成果
8. 成果の活用と今後の展開

1. プロジェクトへの参画とNITEの役割

アジェンダ21 第19章
化学的リスクの国際的アセスメント
の拡大と促進

化学物質排出把握管理促進法
の成立

リスク評価とそれに基づく
化学物質管理の必要性
人材の育成

化学物質の
排出量がわかる
ようになった

「化学物質のリスク評価及びリスク評価手法の開発」

(NEDOプロジェクト)に参画

【NITEの役割】

暴露情報の整備

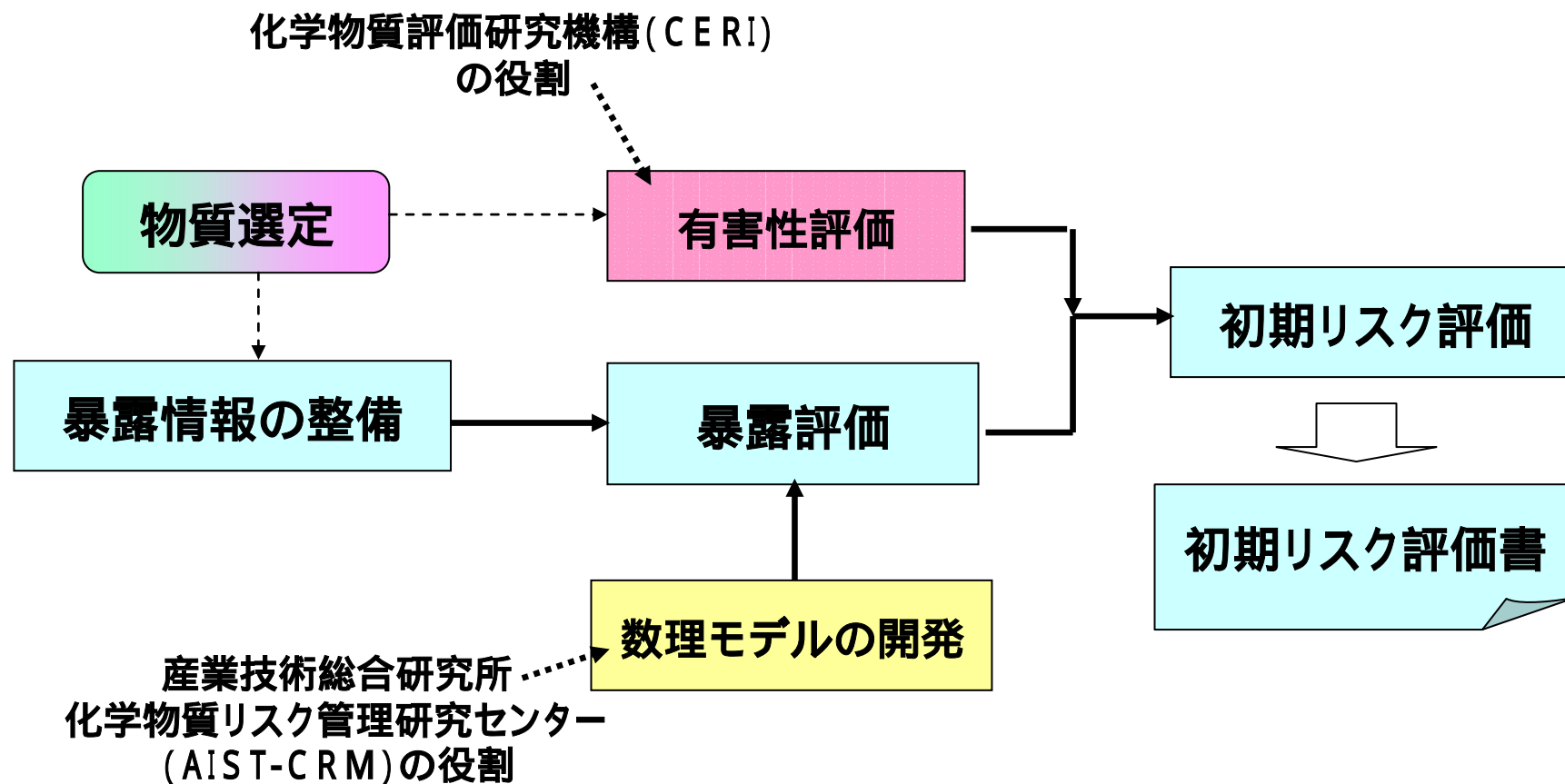
暴露評価手法の開発

初期リスク評価の実施

リスク評価管理ガイドの策定

3機関連携して
プロジェクトを推進

初期リスク評価におけるNITEの役割



2. 初期リスク評価の目的と特徴

目的、位置付け

多段階評価の初期段階の評価

初期リスク評価

スクリーニング
のための評価

現時点でリスクの懸念がないか、詳細な調査、
解析、評価等を行う必要があるかに分ける
こと
不足情報の明確化
必要な行動の提案

物質の絞り込み

優先的に詳細な評価等を行う必要のある物質

詳細リスク評価
(詳細リスク評価書)

AIST-CRMが実施

初期リスク評価の特徴

統一的な手法を用いて評価

現時点で入手可能な情報に基づき評価

安全サイドでの評価

2種類以上の選択肢がある場合は、厳しい方を採用

PRTR排出量データを暴露評価に利用

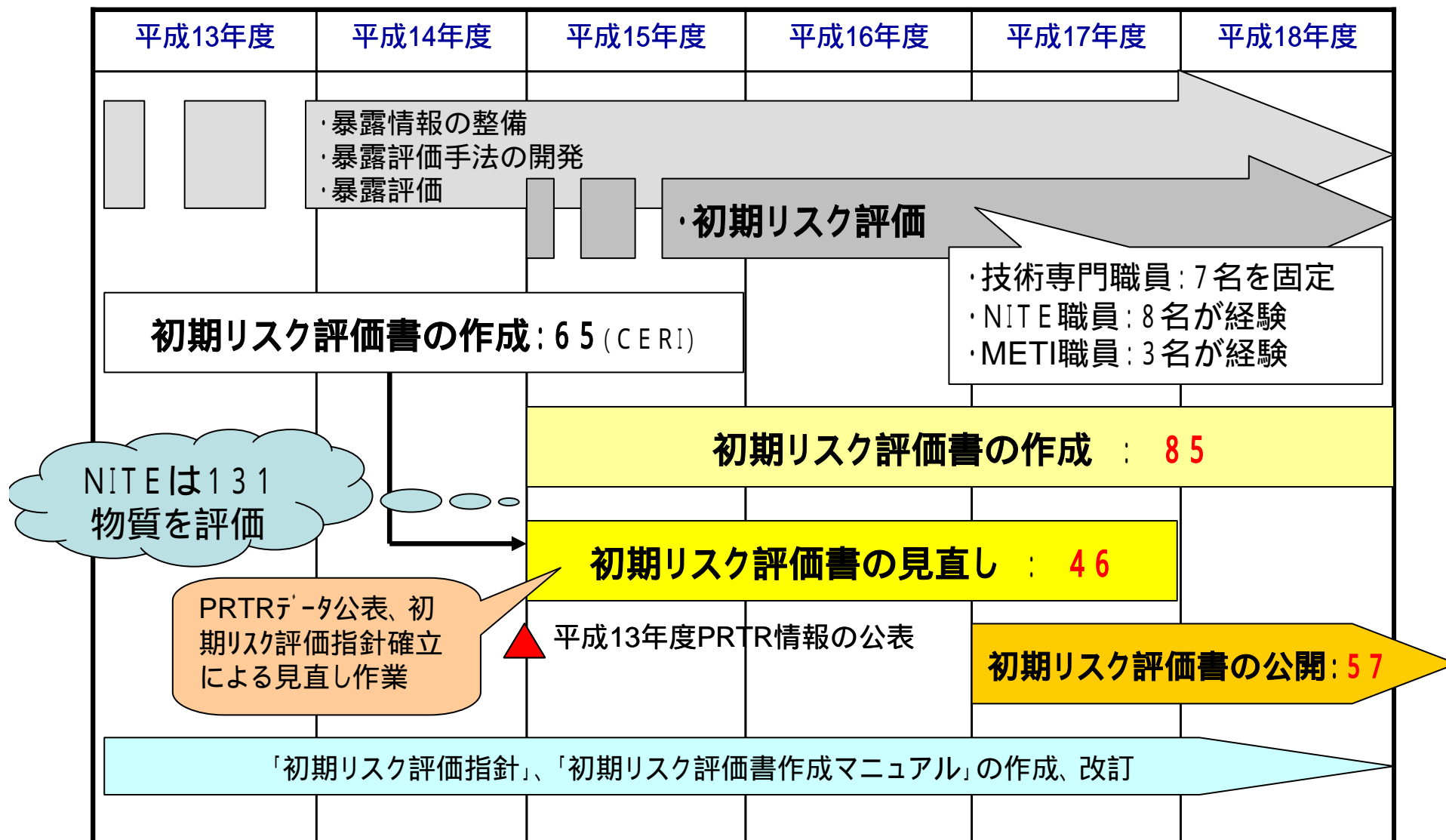
環境モニタリング情報が入手できない場合でも評価が可能

”現時点“でリスクの懸念がないか、詳細な調査、解析、評価等が必要かを判断

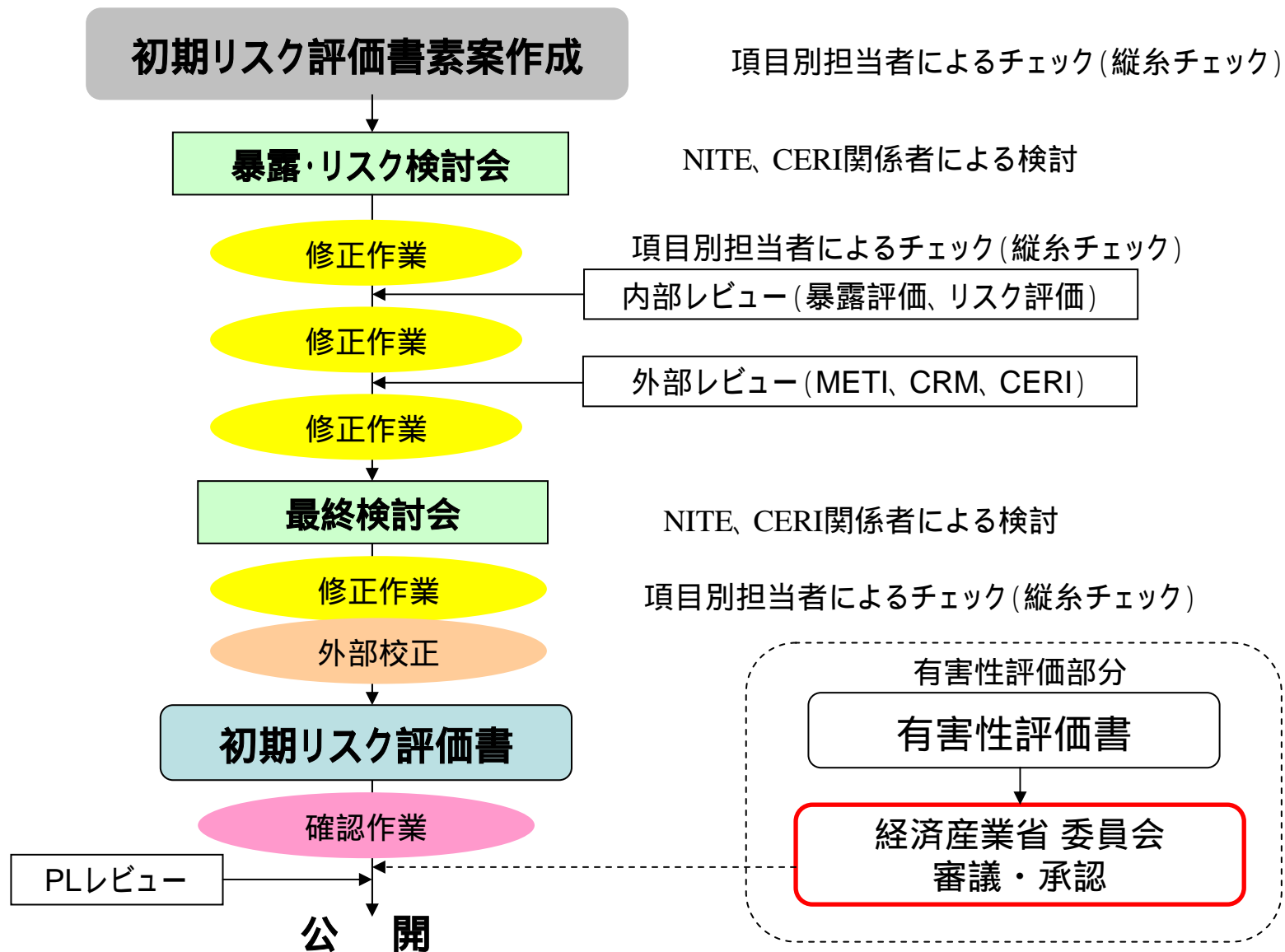
リスク評価は、暴露マージン(MOE)と不確実係数積(UFs)の比較

有害性情報の信頼性、充実度が明示的で、今後の行動が明確になる

3. 初期リスク評価書作成と人材育成



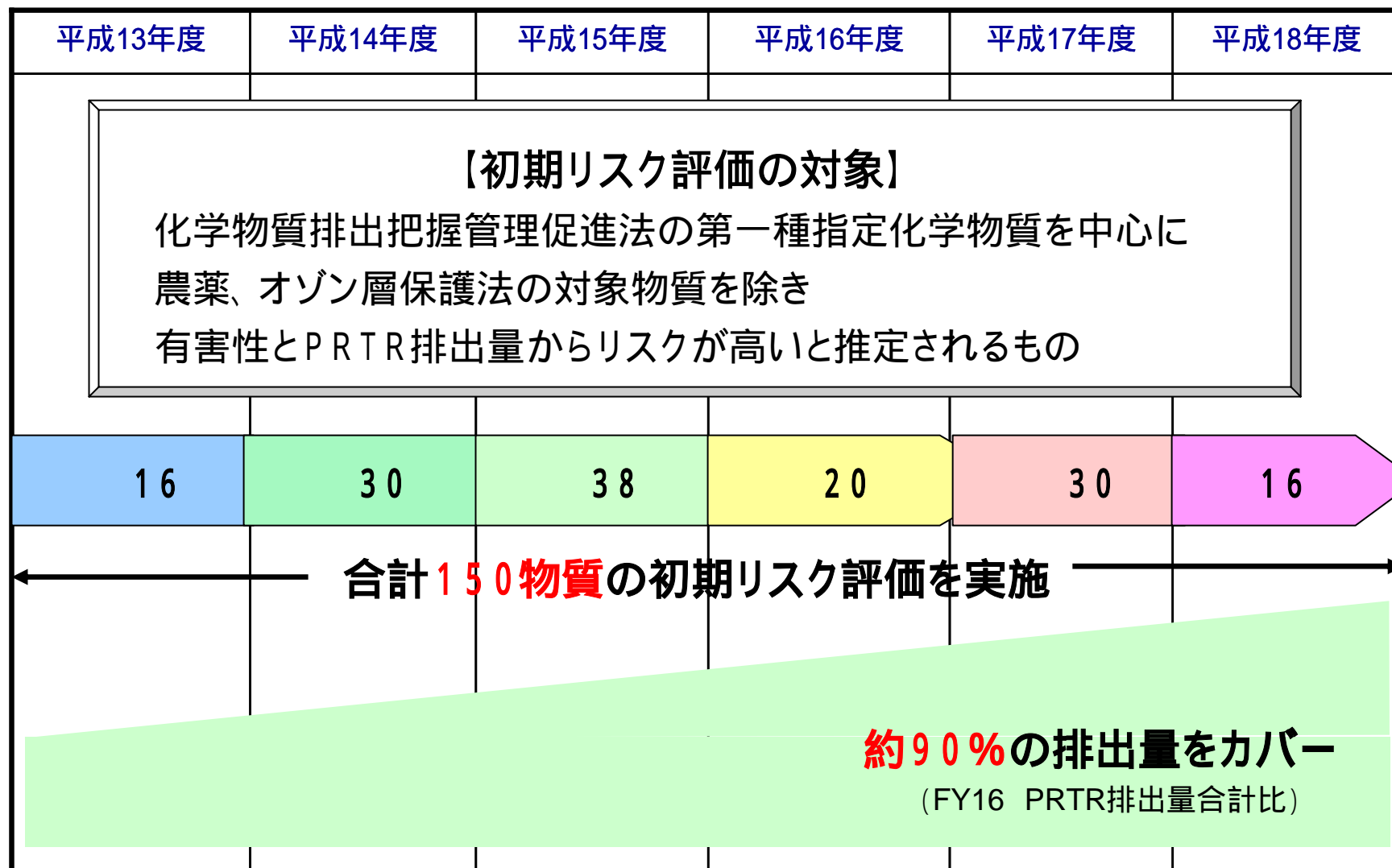
4. 初期リスク評価書の信頼性確保



暴露・リスク検討会の様子



5. この6年間で評価を行った物質



6. 初期リスク評価結果の概要と意義

ヒト健康 : 反復投与毒性等による評価結果*

	吸入経路	経口経路
・詳細な調査、解析、評価等が必要	8物質	6物質
・現時点でリスクが懸念されない	83物質	119物質
・評価できない	59物質	25物質

* 生殖・発生毒性、発がん性は含まない。

生態 : 藻類、甲殻類、魚類に対する評価結果

・詳細な調査、解析、評価等が必要	25物質
・現時点でリスクが懸念されない	118物質
・評価できない	7物質

注) 一部暫定的なものが含まれるため、今後変更があり得る。

6. この6年間の成果(1)

- (1) 初期リスク評価の実施(150物質)と公開(57物質)
- (2) 〈現時点でリスクが懸念されないもの〉、〈詳細な調査、解析、評価等が必要なもの〉に分類
- (3) P R T R 排出量データを用いた環境中濃度推定方法の確立
- (4) 「初期リスク評価指針」、「初期リスク評価書作成マニュアル」の作成、公開
 - 評価手法等の統一化
 - 方法の透明性の確保

6. この6年間の成果(2)

- (5) 「排出経路データシート」の作成、公開
主要排出経路の把握、暴露評価への利用
- (6) 「P R T R対象物質総括管理表」の作成、公開
評価対象物質選定、評価実施優先順位付けへの利用等
- (7) 「リスク評価管理ガイド」(作成中)
リスク評価結果の正しい理解とリスク管理への利用
- (8) 論文投稿 5報
方法や結果の透明性の確保
公正な場での科学的議論を可能にしている

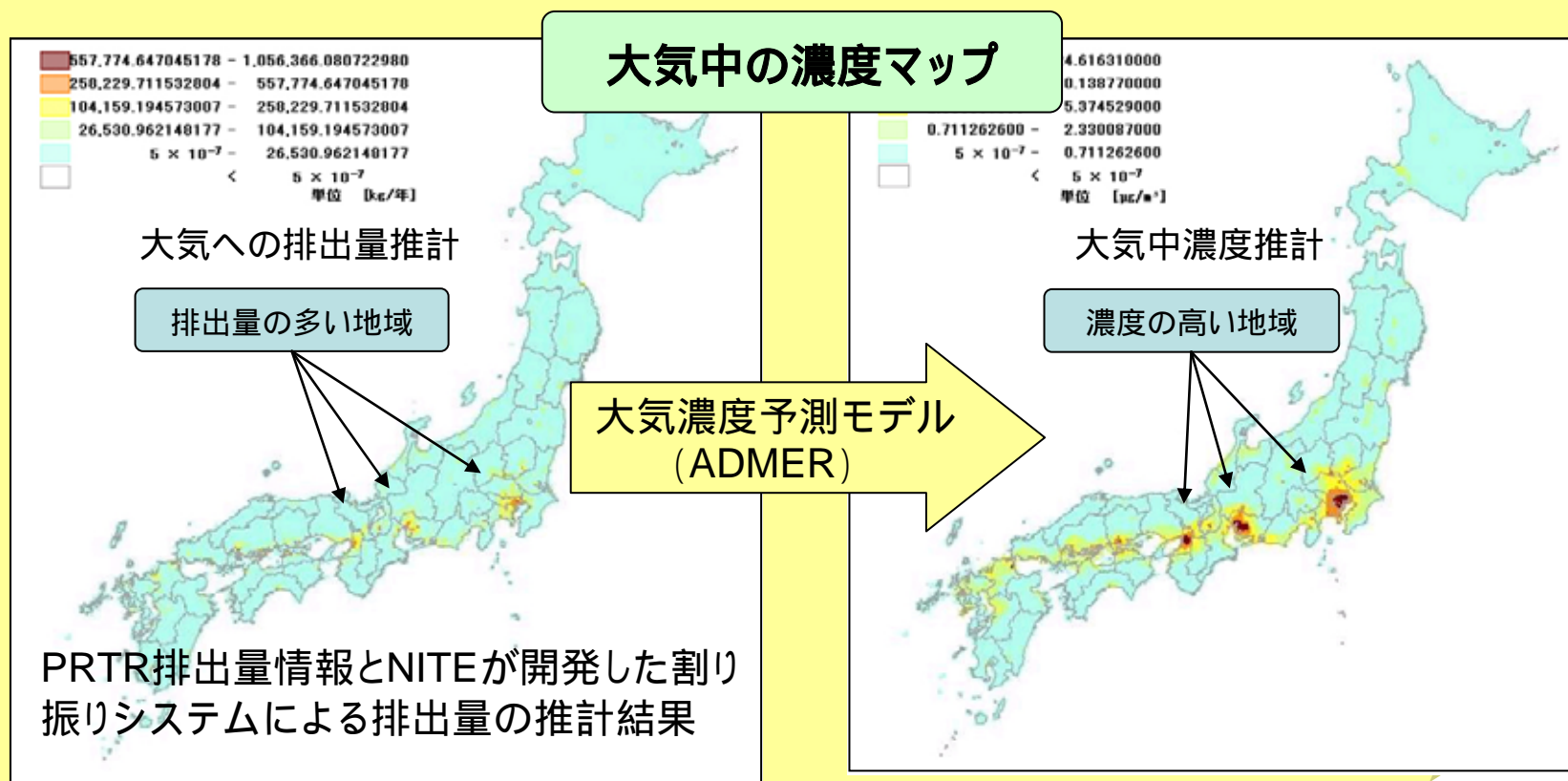
7. 成果の活用と今後の展開

～ 本成果をどのように活用できるか ～

成果の活用事例(1)

マップ表示による地域的な推定排出量、濃度の高低の把握

～ リスク評価、リスクコミュニケーションへの利用 ～



成果の活用事例(2)

リスクコミュニケーション支援サイトへの利用

The screenshot shows the NITE website interface. The main content area features a large heading '化学物質と上手に付き合うには' (How to Live with Chemical Substances) and a sub-heading '化学物質と上手に付き合うには' (How to Live with Chemical Substances). Below this, there is a paragraph of text and a '最新情報' (Latest News) section with several entries dated from 2006. The left sidebar contains navigation links such as 'はじめの方はこちら' (Start Here), '化学物質とは' (What are Chemical Substances?), 'リスクとは' (What is Risk?), 'ご意見募集' (We welcome your comments), and 'リンク集' (Link Collection). There are also search and utility sections.

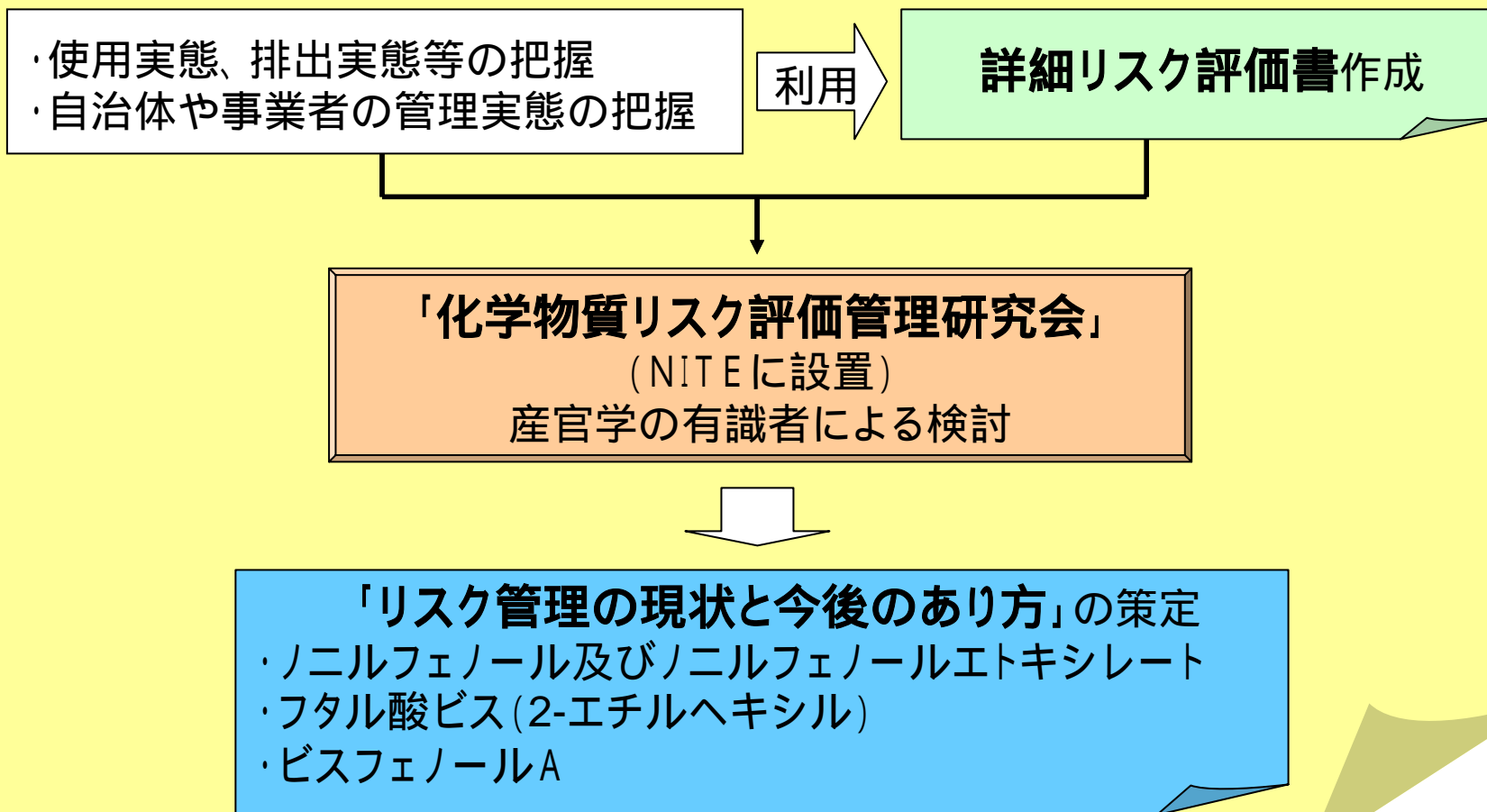
「化学物質と上手に
付き合うには」

主要コンテンツ

身の回りの製品に含まれる
化学物質情報
リスク評価の解説書
リスク評価体験ツール
初期リスク評価情報
リスクコミュニケーション
国内事例紹介
用語・略語集

成果の活用事例(3)

リスク評価結果に基づく管理方法提言の試み



7. 成果の活用と今後の展開

～ 本成果はどのような人が何に活用しているか ～

初期リスク評価書

・経済産業省；

特定の化学物質による環境汚染の状況の監視

自治体職員向け化学物質管理研修

・環境省；

化学物質ファクトシート

・その他（HPへのアクセス・・・約2万件/月）

公開当初から企業のアクセスが多い

大学、研究機関、自治体からのアクセスも徐々に増加

今後の展開

- ・活用方法を含めた成果の普及・啓発
- ・未公開評価書の公開
- ・公開情報の維持、更新

「得られた経験、人材、知見の活用」と「産業界等との意見交換、情報交換」により

- ・新たな評価手法導入への取組
- ・リスクが懸念される物質のリスク評価

安全・安心な社会の構築に向けた貢献